

# 島根県大原郡木次町上熊谷中ノ段方言における身体感覚を表すオノマトペ

水谷信明

はじめに

- (1) 調査対象地；①位置、出雲地方の南部（中国山地に近い）地方を雲南地方とよび、飯石・仁多・大原の三つの郡を雲南三郡という。大原郡の中心、木次の町の川向かいの三刀屋側を斐伊川沿いに3 kmぐらいさかのぼった地上熊谷中ノ段がある。②生業、以前は、農業、紙すき等自営業が多かったが、現在は農業を兼ねたサラリーマン家庭が大部分である。③交通；斐伊川にかかる上熊橋を渡り、斐伊川沿いに国道314号線を4 kmぐらい下ると、国道314号線と国道54号線が交差する木次町里方に出る。④戸数、人口；70戸、230人ぐらい。
- (2) 調査年月日；平成3年12月1日～12月28日
- (3) 話者；水谷敏子 昭和3年10月生まれ（調査者の母親）
- (4) 調査者・調査場所；話者の自宅
- (5) 調査方法；調査票を渡しておいて、気づいた時に書きこむように依頼。12月28日に最終確認をしまとめる。

## I 全身の感覚

### 1-1 快不快

○風呂に入って、アッサリした。

### 1-2 寒さ

○ガタガタ 震える。

○ブルブル 震えがくる。

○風邪でもひいたのかな。（ゾンゾがつく。）\*

（\* オノマトペ以外で、同じような状態を表すことばを「（ ）」書きにした。）

○風邪をひいたみたいだ。せなが、シーシーする。

### 1-3 熱さ

○酒を飲んだら、（身体がぬくもった）。

○卵酒を飲んだら、（身体がほてってきた）。

身体がホカホカしてきた。

身体がホッカホッカする。

## II 皮膚の感覚

- 海水浴で日焼けして背中が、ヒリヒリする。(せなが、はしる)
  - 今日は暑い。汗でネチャネチャ(ネッチャネッチャ)する。  
汗びっしょりに関してはアセダレコダレで仕事する、といった表現もある。
  - 背中に何か入って、ゴソゴソする。
  - 肌が、カサカサにかわく。
  - 肌が、ザランザラしている。
  - 温泉につかって、肌がツルンツルンしている。(肌のすべがいい)
  - 切り傷が、ジキジキ(ジキンジキン)する。  
ジキジキよりもジキンジキンが程度が強い。
  - ころんで強く打ったところが、ジキンジキンする。
  - 擦り傷が、ヒリヒリはしる。
  - やけどしたところが、ヒリヒリはしる。
  - できものが腫れてきた。ジクジクうづく。  
パンパンに、はれている。
  - しもやけがひどくなって、ヒリヒリする。  
ジリジリする。  
ジクジクする。
- ヒリヒリよりジリジリ、それよりも、さらにジクジクの方が程度がひどい。

## III 頭部の感覚

### 3-1 頭

- 熱があって頭の奥が、ジキジキ(ジキンジキン)する。  
ガンガンする。(頭が割れるようだ)
- 熱で、クラクラがつく。
- 二日酔いで頭が、ガンガンする。

### 3-2 顔面

- 恥ずかしくて顔が、ポツとなる。(顔がほてる)

### 3-3 目

- テレビを見すぎて、目がチクチクする。  
チカチカ(チッカチカ)する。  
チクチクとチカチカは、多少症状が違う。チカチカとチッカチカでは後者の程度が強い。
- 煙くて目が、ショボショボする。

○目にゴミが入って、チカチカする。

コロコロする。コロッコロする。

### 3-4 耳

○ああ、うるさい。ジガンジガンいわせている。耳がガンガンする。

○耳の中が腫れて汁が出ているようだ。ジクジクうづく。

### 3-5 鼻

○くしゃみが出そうだ。(鼻がこそばいい)

○風邪をひいたようだ。鼻が、グジグジする。

○わさびを入れすぎて、鼻にチーンとくる。

### 3-6 口

(口全体)

○納豆は嫌いだ。口がネバネバする。

ネチャネチャ(ネッチャネチャ・ネッチャネッチャ)する。

粘りの強さ、嫌いの程度が、ネッチャネチャやネッチャネッチャがネバネバやネチャネチャよりも強くなる。

○梅干しを丸ごと食べると、(口がすいい)。

○あんまり甘いものを食べたから、(あとくちがあまい)

(歯)

○寒かった。歯がガチガチいう・ガチンガチンなった。

○虫歯がひどくなって、歯がジキジキ(ジキンジキン)うづく。

(はしる)

ハシルより症状が重くなり、うみを持つようになると「ジキジキうづく」。その程度のひどいのが「ジキンジキンうづく」。

(舌)

○辛いカレーを食べたら、舌がヒリヒリする。

ピリピリ(ピリッピリ)する。

後の語になるほど、程度が強い。

### 3-7 喉

○水をくれ。喉が、カラカラ(カラッカラ)だ。(かわいた)

○あくの抜けていない筍を食べて、(喉がえぐい)。

○この部屋の空気が悪い。喉が、(えなげな)。(はしかいんなる)。

○息がが苦しい。ゼーゼー(せちげだ)。

## IV 胴体の感覚

### 4-1 肩

○肩が凝って、ゴリゴリいう。

すじが凝って、グリングリしている。

#### 4-2 胸

○ああ、恐ろしかった。まだ胸がドキンドキン（ドッキンドッキン）する。

（動悸がうっている）

ドキンドキンするよりも、ドッキンドッキンするの方が程度が強い。

○悲しくて悲しくて、胸がキーンとなるようだ。

○悪いものを食べたようで、胸がムカムカする。

（むかつく）（胸がせつい）（胸やけがする）

なお、身体の具合が悪いことを言い表す「えたし」という語もある。

#### 4-3 腹

（空腹）

○お腹がすいて、グーグーいう。グーグーだ。

（満腹）

○麦茶を飲み過ぎて、お腹が、チャボンチャボンになる。

ダボダボ（ダンボダンボ）する。

後の話になる程、重量感が増す感じになる。

○食べ過ぎた。腹が、バンバンだ。

（腹下し）

○何か変なものを食べたようだ。腹が、ゴロゴロする。

○下痢気味だ。腹が、ピーピーだ。

#### 4-4 胃

○困ったことが多くて、胃がジリンジリするようだ。

キリキリ（キリッキリ）する。

（胃に穴があくようだ）

#### 4-5 尻

○居心地が悪い。尻が、モンジモンジする。

（尻の下が、こそばいい）（尻こそばいい）

### V 手足の感覚

（手）

○手が、ブルブル震えて、箸がつかめない。

（足）

○歩きすぎて、足が、ガクガクする。

（足がわらう）

（その他）

○気持ちが悪い。ヌルッ（ヌルーッ）としている。

ヌルンヌルンしている。

## VI 関節（骨）の感覚

○寝違えて、（首がまわらん）。

○そんなに曲げると、骨がボキッ（ボキーン）と折れそうだ。

ボキンボキン折れてしまう。

○骨が、はずれると（腕が）ブランブランする。

ダランダランする。

### まとめ

- (1) 語形として、ガタガタ、ブルブル、シーシー、ホカホカなど、二回くりかえしが多い。
- (2) 促音、撥音が入りやすい。キリキリよりキリッキリ、ジキジキよりジキンジキンといったように、促音、撥音が入った方が、その程度が強くなる。
- (3) オノマトベの代りに、その状態を表現する動詞、形容詞も多い。例えば、「はしる、うづく、ぞんぞがつく、こそばいい、えぐい、はしかいい」などである。
- (4) オノマトベの代りに、直喩的な表現も、よく見られる。例えば、「頭がわれるようだ、胃に穴があくようだ、尻の下がこそばいい」などである。

（みずたに のぶあき 島根県立大東高等学校）